

PRESS RELEASE

入場無料

福岡市文学館定例講座「ももちはま草紙」第90回

山笠 をかく(昇く/書く) 元博多っ子記者、大いに語る

令和4年7月開催の文学講座は、元西日本新聞文化部長で博多の生活や文化を語り継ぐ「博多を語る会」会員の松尾孝司氏をお迎えします。本講座では、博多祇園山笠と文学作品をはじめとした数々の創作について、大いに語っていただきます!

広くお知らせいただきますようお願いいたします。

1 開催日時 令和4年7月2日(土) 14:00~15:30(開場 13:30)

2 場所 福岡アジア美術館 あじびホール

(博多区下川端町3-1リバレインセンタービル8階)

3 講師 ^{まつお たかし}松尾 孝司氏(「博多を語る会」、元西日本新聞文化部長)

[講師プロフィール]

昭和21年、福岡市博多区生まれ。「博多を語る会」会員。

実家は、博多・櫛田神社前の飴屋さんとして知られた「太郎飴」。九州大学教育学部を卒業後、西日本新聞社に入社。飯塚、佐世保、長崎などで記者として取材活動。新聞三社(北海道・中日・西日本) 連合編集部長、西日本新聞文化部長などを務めた後、平成27年3月まで田川市美術館館長。著書に『絵筆とリラと 織田廣喜聞書』(西日本新聞社)、『技ありき夢ありき 福岡の工芸家74人』(西日本新聞社)。

4 定員60名(要 事前申込み/抽選) 申込締め切り 6月21日(火)必着

応募事項[(1)氏名 (2)郵便番号 (3)住所 (4)電話番号]を漏れなく記載し、ハガキ、FAX、メール、来館(福岡市総合図書館3階事務室)のいずれかの方法でお申し込みください。1人1口。定員を超えた場合は抽選となり、当選者(受講決定者)へ通知します。



 **福岡市教育委員会**
Fukuoka City Board of Education
福岡スタンダード~福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと~

生活習慣の柱 あいさつ・掃除	学びの柱 自学・とも学	未来への柱 チャレンジ・立志
-------------------	----------------	-------------------

〈問い合わせ先〉

総合図書館文学・映像課

担当：高巢(たかす)、本田(ほんだ)

電話 092-852-0606(直通)

FAX 092-852-0609

✉ bungakukan@city.fukuoka.lg.jp

福岡市文学館定例講座「ももちはま草紙」第90回

やま
山笠をかく(昇く/書く)

元博多っ子記者、大いに語る

7月の博多に元博多っ子で博多の生活や文化を語り継ぐ「博多を語る会」の松尾孝司さんをお迎えして、博多祇園山笠や山笠を描いた文学作品について歴史的文化的な側面から祭りの風景を読み解きます。3年ぶりの祭りを一緒に楽しんでみませんか？

日時 2022年7月2日(土)

14時~15時30分(開場13時30分)

会場 福岡アジア美術館あじびホール

福岡市博多区下川端町3-1リバレインセンタービル8階

講師 松尾 孝司氏

(「博多を語る会」・元西日本新聞文化部長)

定員 60名(要事前申し込み・抽選)

申し込み締切 6月21日(火曜日)

入場
無料



応募事項 (1)氏名 (2)郵便番号 (3)住所 (4)電話番号 をもれなく記載し、ハガキ、FAX、メール、来館(福岡市総合図書館3階事務室)のいずれかの方法でお申し込みください。

(1人1口) 定員を超えた場合は抽選を行い、当選者(受講決定者)のみご連絡します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムが変更となる場合があります。

※ご参加の際は、必ずマスクの着用をお願いします。

※申込時にいただいた個人情報は、新型コロナウイルス感染症対策のため保健所などから要請があった場合、情報を開示することがあります。

§お申し込み§

ハガキ 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
総合図書館文学・映像課 福岡市文学館担当

FAX 092-852-0609

Email bungakukan@city.fukuoka.lg.jp

まつお たかし
講師 松尾 孝司氏

(「博多を語る会」・元西日本新聞文化部長)

昭和21年、福岡市博多区生まれ。「博多を語る会」会員。実家は、博多・櫛田神社前の飴屋さんとして知られた「太郎飴」。九州大学教育学部を卒業後、西日本新聞社に入社。飯塚、佐世保、長崎などで記者として取材活動。新聞三社(北海道・中日・西日本)連合編集部長、西日本新聞文化部長などを務めた後、平成27年3月まで田川市美術館館長。

著書に『絵筆とリラと 織田廣喜聞書』(西日本新聞社)、『技ありき夢ありき 福岡の工芸家74人』(西日本新聞社)。

講師からのメッセージ

「古代からの大陸からの玄関口、国際交流都市に息づく心意気」と関心の高い博多祇園山笠。その奥深い民俗祭事の世界を、博多に生まれ育ち、新聞記者として40余年の体験と、田川市美術館長の経験といった文化・美術の視点を通して紹介。山笠の誤解も解きながら、皆さんと山笠をたのしみます。コロナ禍、ウクライナ危機のいま、山笠から学べるものは何でしょうか？



東長寺前の清道を回る上川端通の飾り山(2015年)
(撮影:松尾孝司)



福岡市総合図書館 本の展示

定例講座に合わせて総合図書館所蔵の山笠本を集め、ご紹介しています。3年ぶりの博多祇園山笠にそなえて、予習・復習してみませんか？

・定例文学講座関連展示「山笠を書く」(貸出可能です◎)
期間:6月9日(木)~8月30日(火) 設置場所:福岡文学スペース

館内閲覧のみ

・郷土・特別資料室 郷土テーマ展示「山笠を記録する」
期間:6月1日(水)~8月30日(火) 設置場所:2階郷土・特別資料室